

あれ？もしかして？…という時のために

認知症ケアパス



「認知症ケアパス」とは

認知症の人やそのご家族が、認知症の状態に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいのか、サービス利用の流れをわかりやすく示したものです。

中区版

認知症

ふぉふぉクイズ

1

日本人に多い認知症は
レビー小体型認知症である？



2

「もしかして認知症!？」と
最初に気がつくのは、本人である？

3

認知症はどうせ治らないから
医療機関にかからなくてもよい？



4

「同じことを何度も言う」ことに対して
注意したり、怒った方がいい？

5

認知症は、周囲に迷惑をかけるから
外出は控えた方がよい？



クイズの答えは、中面の「なるほどねっ認知症!」で確認してください。

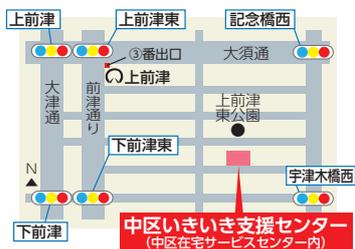
問い合わせ先 開設時間 月曜～金曜(祝祭日・年末年始を除く) 午前9時～午後5時

中区いきいき支援センター〈認知症初期集中支援チーム〉

中区上前津二丁目12-23 中区在宅サービスセンター内

TEL 331-9674
FAX 331-6001

- 地下鉄「上前津駅」③番出口より徒歩7分
- 「上前津東」交差点から南に4本目を左折

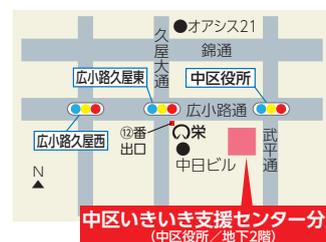


中区いきいき支援センター分室

中区栄四丁目1-8 中区役所/地下2階

TEL 262-2265
FAX 262-2275

- 地下鉄「栄駅」⑫番出口より徒歩3分



住み慣れた地域で



いきいき支

相
窓

ケア
マネジャー

介護
福祉

住まい

本

予防



- ヘルパー ●デイサービス
- ショートステイ
- 配食サービス
- 福祉用具 ●住宅改修 等



- サービス付高齢者向け住宅
- 有料老人ホーム
- 小規模多機能型居宅介護
- グループホーム
- 特別養護老人ホーム 等



- はつらつクラブ ●ふれあい・いきいきサロン
- 福祉会館 ●市民講座 ●介護予防事業 等



暮らし続けるために



支援センター

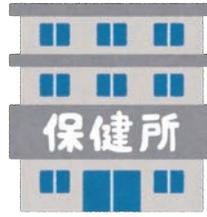


談
口

行政
機関



- 区役所
- 警察
- 保健所
- 消防署 等



- 認知症疾患医療センター
- 在宅医療・介護連携支援センター 等



医療



- かかりつけ医
- 認知症サポート医
- 歯科医師・薬剤師 等

生活
支援

- 地域の見守り(自治会・新聞販売店等)
- 民生委員
- 地域支えあい活動
- 日常生活自立支援事業
(金銭管理・権利擁護)
- 成年後見制度
- はいかい高齢者おかせり支援事業
- 認知症サポーター 等



家族
支援

人



なるほどねっ



認知症!

1

日本人に多い認知症（4大認知症）は、①アルツハイマー型認知症 ②脳血管性認知症 ③レビー小体型認知症 ④前頭側頭型認知症（ピック病）です。アルツハイマー型認知症が大半を占めています。

歳を重ねるほどに認知症になりやすく、誰でもなりうるのです。

2

認知症の症状に最初に気づくのは**本人**です。

朝食に何を食べたか思い出せないのは**もの忘れ**。食べたこと自体を忘れてしまうのが**認知症**。

認知症の人は何もわからないのではなく、誰よりも一番心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

3

認知症は、治す事は難しいですが、出来るだけ**早期に診断**を受けることで、進行を遅らせたり認知症の症状を抑え、生活しやすくする事が可能です。

認知症に似た症状のある病気で、早期に治療すれば、治るものもあります。ぜひ、専門医を受診してください。

4

何度も同じ話を繰り返すことがあります。本人は全く悪気はないのです。しつこいと、怒ってしまいますよね。当然です。でも、認知症の人にしてみれば、毎回、初めて話していると思っているので、「どうして私の話を聞いてくれないの!」と怒りの感情が残り、そのストレスからさらに症状が悪化することがあります。

5

認知症の人は「何もできない」わけではありません。行動を抑えられると感情が不安定になり、症状が悪化することがあります。自信や意欲を無くさないように、デイサービスやサロンなど同世代の人たちと時間を共有することが大切です。

※認知症について不安を感じたときや、誰かに相談したいときは

いきいき支援センター等に相談してみましよう!

認知症の進行に合わせ

この表は、アルツハイマー型認知症の進

	健康	軽度	中度	重度	
認知症の進行 [ご本人の様子]	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 物の忘れが気になる ● お金の管理や買い物、書類の作成などはおひとりでする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物の忘れにより生活しづらさがある ● 日付や時間がわからなくなる ● 買い物やお金の管理にミスが見られる ● 日常生活はなんとか行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物の対応が ● 服薬管 ● 電話の対応が ● 道に迷 	
家族の気持ち(例)		<ul style="list-style-type: none"> ● 否定、年齢のせい ● 言えばできるはず 		<ul style="list-style-type: none"> ● 混乱 ● 認知症状に振り回される ● 介護の疲れ 	
ケアのポイント		気づき～相談 ● いきいき支援センターやかかりつけ医に相談	介護保険の申請等 ● 介護保険の申請 ● 薬による治療 ● 役割や社会参加の機会をもつ		
本人・家族を支援する主な制度やサービス等	相談窓口	いきいき支援センター 高齢者いきいき相談室		ケアマネジャー	
	家族支援	家族会、認知症コールセンター 家族サロン、家族教室、もの忘れ相談、家族交流会			
	介護福祉			ヘルパー、デイサービスなどの介護保険サービス	
	医療	かかりつけ医、在宅医療・介護連携支援センター 認知症疾患医療センターなどの専門医療機関、認知症サポート医			
	生活支援	地域での見守りや支えあい活動、民生委員、認知症サポーター		成年後見制度、日常生活支援事業(権利擁護・はいかい高	
	予防	介護予防事業、趣味や特技を活かせる場 地域での交流の場(ふれあい・いきいきサロン等)			
住まい	サービス付高齢者向け住宅 有料老人ホーム		小規模多機能型居宅介護	グループホー	

「ケアポイント」

進行と主な症状をもとに作成しています。

中等度	重度～末期
<p>やお金の管理ができない 理ができない 応対や訪問者の 困難 うことが</p> 	<p>以下のことに手助け・介護が必要になる</p> <ul style="list-style-type: none">●着替え●入浴●食事●排泄●整容 (洗面・歯みがき・化粧)  <ul style="list-style-type: none">●車椅子・ベッドでの生活が中心になる●食事をとることが困難になる●言葉による意思表示・理解が困難になる 
<p>てしまう ●自分だけがなぜ、拒絶</p> 	<p>●割り切り ●受容 ●どう看取るのか</p> 
<p>日常的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応</p> <ul style="list-style-type: none">●介護保険サービスの利用●地域での見守り、支えあい●行動心理症状などは、認知症専門医療機関へ	<p>重度・終末期のケア</p> <ul style="list-style-type: none">●介護保険サービスの利用●在宅での診療、看護●穏やかに苦痛なく過ごす
ス	
ス	
ス	
ス	
ス	
ス	特別養護老人ホーム

認知症に早く気づくための



やってみよう

チェックリスト



この認知症チェック項目は、あくまでも目安です。
認知症の診断をするものではありません。
3つ以上あてはまった方は、専門医に相談を。
また、いきいき支援センターに相談ください。

1	同じことを言ったり聞いたりする。	<input type="checkbox"/>
2	物の名前が出てこなくなった。	<input type="checkbox"/>
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	<input type="checkbox"/>
4	以前はあった関心や興味が失われた。	<input type="checkbox"/>
5	だらしなくなった。	<input type="checkbox"/>
6	日課をしなくなった。	<input type="checkbox"/>
7	時間や場所の感覚が不確かになった。	<input type="checkbox"/>
8	慣れた所で道に迷った。	<input type="checkbox"/>
9	財布などを盗まれたという。	<input type="checkbox"/>
10	ささいなことで怒りっぽくなった。	<input type="checkbox"/>
11	蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった。	<input type="checkbox"/>
12	複雑なテレビドラマが理解できない。	<input type="checkbox"/>
13	夜中に急に起きだして騒いだ。	<input type="checkbox"/>